



はだし  
スコップ  
恋をしている  
ナイス  
巡回

# 少年天象 12

2014  
月号

## 【目次】

### 連作

「デッドマンは眺めていた」・・・・・・・・スコラブ

「さとえり」・・・・・・・・はだし

「ダンス」・・・・・・・・恋をしている

「エレキ大福開発日誌」・・・・・・・・迂回

「ぎんいろの春」・・・・・・・・スコラブ

「サニーサニーハンバート」・・・・・・・・ナイス害

なんたる歌会

編集後記

絶望の望という字も奪われて絶えゆくだけのタウジンゲロッド

白い歯にわたしが見てる純朴は死という終わりをもつて為し得る

赤い目に魅入れられちゃった代償にウサギの死骸を野へ埋めに行く

雨の日はLINEの熊が死ねと言うスマホを捨ててきみの家へと

眼球のパレードを待つ朝五時はふたつしかないことが悲しい

柔肌も白ブラウスも砂浜の言葉も死んだみんなみな死

「このドアを開ければ災いがあふれ死より苦しむだろう」それでも？

たくさんのむくろの上にぼくくらいでふたりで祝うメリークリスマス

赤色がだんだん黒へかわるさまささいこのひかりをここでみている

お墓には行きたくないねと言っていたひとのなきがら放て 星空

縁石を蹴ってかたくて次に蹴るはずのあなたのあたらしい靴

ポツキーのいらたん溶けて固まったようなおれたち バザーへ徒歩で

電話してあなたがわりとはやく出る 木工用のポンドをさがせ

傾いてるシヨベルカー昔もあつて昔はもつと傾いてたな

おれたちは決めたよ 黒縁のメガネは佐藤江梨子がかかるべきだよ

「うるせえ」と言われて犬がひしゃげてくスリムとキョート手に入れながら

公園ですこいトラブルをみたあとの話題は雪にかっさらわれる

マシンマロを飛ばして口でキャッチするこたつもどけて本気のやつを

名人が失敗してる テレビって残酷ですな あなたは寝てる

小さめのツリーへさいこ着地してコルクはとでも とでもよいもの

ねえ、声かけてプレんティー、半分だけ愛して 取っ手が輝く  
ねえ、声かけてプレんティー、やっぱり全部愛して雑巾がひっかからないわあそこに

幻を見ないといけない気がするがどうしたものか、文庫本に手の骨が置かれる

針の音どきどきキャンセルレインボージュース発見 すこい話

針の音どきどきキャンセルレイプA どうせあなたの気がする背中

那須で砂とつてきたもち 借金のベルトコンベアーコンベアーコン

ふっつかな妻にしてください 日記もつけませんし目を湯につけません習い合っために寝ます

こわれてくどうせギヤギヤムギヤムギヤムまた怖いだけのお話

幻を見ないといけない気がするがどうしたものか、文庫本にネックレスの章があった

繋がってごめんなさいやや大きめのサンドバックを抱えている(サンドバック?)

踊ろう やや恐めの神父さん、父が言っていました「好きな人を好きでいなさい」

ねえ、声かけてプレんティー、半分だけ愛して 夜に君の取っ手が輝く

ねえ、声かけてプレんティー、やっぱり全部愛して汚いものは全部嘘。月に僕がひっかかったよ

プロジェクト・ゲンナイ・H 伝統の餡と電気に無上の滋味を

茶室にもコンセントあり 社長、社長、これは過渡期というものなんじゃ

国産の小豆農家とブラジルのエレキ農家を足で口説いて

つぶあんともちの境界における伝導率を制御せよ阿部

重大なリスク それでも誰にでも銀歯の人にもエレキよ響け

差し入れのおにぎりを持ち奥さんは「海苔がしなしなね」 鉛筆が落ちる

夏になる前に 秋になる前に エレキの匂をはかりかねつつ

阿部の歯がやたらときれい 位相幾何あずき公理はエクセルの中

うぐいすの声をかき消し工場のパートおばちゃん手回し発電

おみやげにエレキ大福ふところと嫁がしびれるギザギザあんこ

ぎんいろの春      スコラブ

物事が全て暗喩に見える夜打ち破れ打ち破れ星の船

パイン缶の水面見せたく歩いてる病院通りの右手の重み

きみとなら苦い薬も飲めそうとオブラート越しにキスをしていた

ともだちといつも呼んでるタブレット奥歯で噛んできよならをする

秋なのに雪が降るねと言った日の教会通りの白いはなびら

ワインセラー迷路みたいに続いている行き止まりへと押し込めてくれ

化学式・雪の結晶・ヘキサゴン    グラスの縁に飾るアイコン

雪を踏むぼくは今だけシチズンのクロノグラフのムーブメントに

ゆきどけはいつだって構わなくて、それは、例えば、ぎんいろの春

すきだとかあいしてるなんて言葉だけ集めた船が本日、火星へ

プロポーズぶさけてされたもんだから あれからずっと空洞でした  
常識を尖る言葉で耕され脳の下には甘い新芽が

コニがかかるパツソの助手席を「エイ」と後ろに下げる火遊び

陶芸の帰りに見上げる 流星よ留守番してる旦那に堕ちろ

平和な絵しか描かないの まいたな ホログラムの子がチラチラ笑う

真ん丸のチーズを太陽太陽と呼べば なんだようれし涙か

同じアメ同時に舐めれば舌先が暴れ ありがとロツテ御中

江戸時代みたいな月が出た夜に別れを決めた カレーが焦げる

オリビアを聴き逃してる亡霊はジャスミンティーで火傷しました

一度でも手が触れ合えば全項目レ点を入れちゃいそうな危機感

12位で「ラッキーカラーは白です」と言われてオレは死ぬんじゃないの

さようならメートル 星がまた消えたアンドロメダ 広島に帰らないでね



★ なんたる歌会ラジオとは。

2014年11月28日（金）22時～24時半に[ねとらじ](#)で放送したラジオです。

なんたる星達のテーマ詠を、迂回とスコラブの二人が評したり選したりしました。

今月号はラジオでかわされた評の文字起こし・伏せられていた詠み手の名前・

選の結果を公開します。

録音やツイッターでの反応も残っているので、皆さんから頂いたコメントや評、詠草など、ここに書ききれなかった部分は是非そちらで確かめてみてください。

録音：<http://fast-uploader.com/file/6972790727727/>

パスワード【koiwo】を入力してダウンロードボタンを押すと、再生画面に入れます。

そこから右上の「ダウンロード」リンクでダウンロード画面に行けます。

アップ期限は2014年12月29日 13時26分まで。

Togetter（ツイッターでのコメントまとめ）：<http://togetter.com/li/751213>

パソコンを飲み込んでゆくチェーンソー最古の記憶のような粉たち

詠み手：迂回

## ☆ラジオでの評

### 【歌意について】

**スコラブ**：（上句の景としては）チェーンソーがパソコンを飲み込んでゆくっていう光景ですね。

**迂回**：わかりやすいですね。

**スコラブ**：それで飛び散る粉が、最古の記憶のような、というのが...

**迂回**：歌っぽいというか、この歌の中心にある表現に見えます。

**スコラブ**：パソコンっていうのが、現代の機械の代表みたいな感じなのかな。

**迂回**：新しさとしての象徴かな。そういう意味だとスマホとかでもいいかもしれない。

**スコラブ**：改作になるけど、「iPhoneを飲み込んでゆくチェーンソー～」とか。

**迂回**：あーなるほど。具体的なものにするとより象徴的になった感じがしますね。

**迂回**：「飲み込んでゆく」の比喻はどんな意図がありそうですかね？

**スコラブ**：面白い比喻ですよ。 「切り刻む」だと真ん中から切っていくイメージだけど、それに対して周りからフォーカスするような...

**迂回**：それを受けて下句に、ってことになるのかな。パソコンと記憶ってちょっと繋がりがあかなあと思うんですが。

**スコラブ**：パソコンのメモリみたいな。

**迂回**：そうそう。パソコンも買い替えたりして古いデータも残ってたりすると思うんですが、それをチェーンソーで切ると、結果として物体としての粉しか残らないっていう...  
そういうデータの実体の無さを読ませたい歌なのかなあと。

**スコラブ**：僕は粉っていうのが、砂とか土とか...最初からある自然物の印象があって、そこに（人工物のパソコンが）還っていくイメージですね。

**迂回**：チェーンソーを介して、パソコンの中身が物体に還っていくような。

**スコラブ**：それだと「飲み込んでゆく」のイメージに合いますね。

**迂回**：でもチェーンソー使うのは人間なんですよ。

**スコラブ**：そこは面白いところです。

**迂回**：使ってる側はどんな気持ちでパソコンを切ってるんだ、という部分も気になります。  
自分のパソコンなのか他人のものなのか、で違ってきそう。

**スコラブ**：他者との関係も入ってくるとだいぶ広がりが出ますね。

迂回：その辺りは読みに任せる部分だとは思うんですけど。

#### 【技巧について】

迂回：既に他のメンバーから出てる評にも指摘されてるんですけど、最後の「粉たち」の「たち」はどうでしょう。

スコラブ：ちょっと安易だったかなという気はしますね。難しいですが...

無生物に「たち」ってつけて生き物のように扱うのは、例えば穂村弘さんの作品でも見受けられたり、割とよく使われる表現かなあと。

迂回：「たち」としなかった場合どうなるかというのは見ておきたいですね。

スコラブ：「砂粒」とか...。少し味気ないかな。

迂回：パソコンから砂粒には持って行きづらいかなあ。

「粉」の時点で複数なんですよ。敢えてなのか...「粉のかたまり」が複数なのか。個別の粒を「粉」として「粉たち」なのか。

スコラブ：ちょっと違和感ある表現なんだけど、代替案が難しい感じ。

#### 【歌題について】

迂回：「チェーンソー」を使う必然性は歌にありましたかね。

スコラブ：この歌で言えばしっくりきそう。他の工作機械とかでもいいかもしれないけど。

迂回：手で持てる、パソコンを壊せる機械ってことだとチェーンソー以外は少ないのかな。

でかいハンマーでぶっ叩く、とかだと印象が変わりそう。

## ☆なんたる星評

「パソコンを飲み込んでゆく」というのは単純にチェーンソーでパソコンを切断するということだと思います。チェーンソーのギュワンって感じが「切る」とかではなくいかにも「飲み込む」って感じだから多分そうだと思うんですけど。「最古の記憶のような粉」っていうのもつまり「情報いっぱいボックス」として「パソコン」を見た時にそれを切り刻むことで舞う粉塵が今まで蓄積されてきた「記憶のよう」に見えているっていうそういうことなのかなと。

毎回細かいことで申し訳ないんですが、気になるのは「粉たち」の「たち」です。大喜利の人って結構この「たち」って好きな気がするんだけどどうかな。そんなことないかな。粉つてもちろん人じゃないからこの「たち」は違和感があります。でももちろんそれを狙ってるなら別にいいんだけど、これはナチュラルに使っているダメな「たち」に見えます。自分もよくやるからそんな気がするんだけど、リズムを取るための「たち」の雰囲気がありました。

(恋をしている)

綺麗で纏まってる。パソコンと最古の記憶の対比であるとか、情景が浮かぶ部分。

「飲み込んでゆく」も好き。

(スコラブ・ラジオでの選評)

## ☆なんたる星選

特選：恋をしている、スコラブ

並選：はだし

☆ラジオリスナー 選 (集計時のお名前を使わせて頂いています)

特選：双葉屋ほいる (箔紙) さん

並選：ちゃんののさん、こはぎ@中身さん、杏さん、

天雫音之命@あまね稲荷さん、菊地うらら (ちゃむ) さん、小早川さん

笑わぬが遂に作った君の面 同じ生まれのワインが酸っぱい

詠み手：ナイス害

## ☆ラジオでの評

【歌意について】

スコラブ：（「君の面」の）読みは「めん」でいいのかな

迂回：チェーンソーを前提に考えると「めん」かな

スコラブ：チェーンソーで作った面...？で、同じ生まれのワインが酸っぱい。

迂回：ぶどうの木で作ったってこと？

スコラブ：そのまま繋げるならそうですよね。

迂回：「生まれ」ってことはワインの年代ってことかな。

スコラブ：酸っぱいなら若いワインみたいだけど、そうとも限らないかな。

スコラブ：「笑わぬ」のは自分なのか「君」なのか...

「君の面」にかかっているなら「君」なのかな。

迂回：笑わない君の面を作った...

スコラブ：うん。

迂回：掴めてない感じするなあ。

スコラブ：情景としては山奥のイメージ。人里離れたような。

：そこで自家製のワインを作っているのか...

迂回：チェーンソーで？

スコラブ：まあぶどうの木を切り倒しちゃいけないんだけど。

迂回：でもあるかもしれないですね。

イメージなんだけど、後がない感じがして...これで最後だからこういうことをしてる感じがする。

スコラブ：あー、今まで作ってきたぶどうの木も最後だから切っちゃってしまっ。

迂回：その木を面にしてしまっ、ワインを飲んだらお終いだぜ、みたいな。

ちょっと悲壮な感じ。

スコラブ：「ついに」もそういう部分を感じさせるかもね。

あなたが笑わない間もずっと一緒にいたけれど、きみの面を作って一段落としようやと。

迂回：笑っている顔を作りたかったんでしょうね。

スコラブ：その面が笑っているか笑っていないかはわからないんだけど。

それで「笑わないきみ」との生活も終わりにしようか、一緒に育てたぶどうの木も切ってしまうおうか、と。敢えてストーリーを作るならそんな感じなのかな。

迂回：そうだとすると結構好きなのがあつて。

その2人の関係性よくわからなくないですか？それが好きなんですよ。歌呼んで関係性がすぐ判っちゃうよりは心地良い距離感がある方が。

スコラブ：そう、なんか不思議な関係だと思う。

イメージしたのは山奥なんだけど、普通の街中では暮らせない、見せられないような関係。

迂回：見た目ふつうなんだけど、押し量りきれないような。

スコラブ：ワインもそういう印象なんだけど、秘密を共有してるイメージ。

迂回：最初に「面」読みを迷ってたのは、「つら」って読めそうってこと？

スコラブ：「つら」とか「おも」とか。今までの読みだとお面ぽいけど、

「君の顔に似せて作ったよ」って意味だと「おも」かなと。

迂回：ちょっと違う解釈見えました。「笑わぬ」が「笑わぬ誰か」みたいな名詞なんじゃないかっていう。「笑わぬ」人が、ついに作った「君の面」。

同じ生まれのワインが酸っぱい...

これだとジェイソンのイメージが先立っちゃうんだけど。ジェイソンで笑わないよね？

スコラブ：顔を見せたことは無いはず...

迂回：あの面だから笑ってるようには見えないですよ。

そいつに、思い焦がれる誰かがいたんでしょう。

で、面を作って、それだけでは飽きたらず同じ生まれの...あれ、この「ワイン」で血？

「同じ生まれのワイン」ってその人の血？

スコラブ：すごい解釈だな。

迂回：どうしてもチェーンソーが歌題にあるとね。

スコラブ：そういうスプラッタ的な読みもできるし、いろいろ余白が残されてる歌だね。

【技巧について】

迂回：敢えて意味にならないようにしてるんですかね。

スコラブ：字面の雰囲気だけ取ってもらう感じかな。上句は「笑わぬが」「ついに」とかぎくしゃくしてるし。

迂回：下句はすつと読めるんですけどね。上句でつまずかせて、

下句でバランス取ってるのかな。

スコラブ：上句だけで相当体力奪われましたね。

迂回：票は取れないタイプですね。

スコラプ：うたの日とかに出したら「ドンマイ」が付く歌...音符2, 3票は入るかな。

迂回：ある意味歌会ならではって歌でしたね。

---

## ☆なんたる星評

ラジオきいて変わった、人面かと思ってた。

笑わぬが、は面にかかっているのかな。君はもう亡くなっているような気がします。ワインが酸っぱくなるのって年月が経ったりするイメージ。たぶん生まれ年のワインを買ったけど開ける前に君がいなくなって。木かなんかで作ったんでしょうか、笑わんけど君っぽい何かを。「遂に」は、そういうの下手だったけど何度も作って作ってうまくなっていくまでの時間を表しているのかなって思います。で、それと向かい合って、ディナーっぽくセットしてとっついたワインを開ける。酸っぱい。狂気的な愛の最後が酸っぱいで終わるのがなんかせつない。現実に戻されたっぽくて。

(はだし)

不穏な感じが惹かれる。あからさまな不穏さじゃなくて、読み込まないと張りつめた感じが伝わらないっていうのがよかったかなと。

(迂回・ラジオでの選評)

---

## ☆なんたる星選

特選：

並選：迂回、真匿名

## ☆ラジオリスナー選(集計時のお名前を使わせて頂いています)

特選：土筆みお@ネプリをお恵みくださいさん

並選：

チェーンソーマジック 僕の下半身、上半身、声、どれもちこくす

詠み手：恋をしている

---

## ☆ラジオでの評

【歌意について】

迂回：チェーンソーマジック。

スコラブ：チェーンソーマジック。

迂回：最初思ったのが、結句「ちこくす」は「遅刻す」か「血濃くす」なのかってとこ。

スコラブ：俺は普通に遅刻するって思ったけど。

迂回：どこにかかるのかな。取り敢えず最初にそこに目が行って、別のところを読むような感じでした。

スコラブ：浮かんだのは、「下半身、上半身、声」っていう人間を構成する要素が、チェーンソーによってバラバラにされているイメージかな。

迂回：あー。

スコラブ：バラバラにされて...それぞれが遅刻してる？

迂回：何かに遅れてる？

スコラブ：精神的な...気持ちとか

迂回：何か辿りたい場所があって、でも動けない身体みたいな。

スコラブ：身体がバラバラになって、意識だけ飛んでいってるようなイメージ。

迂回：あー。それを引き起こしてるものがなんなのかわからないんだけど、実体はないんだけど、チェーンソーみたいに思えた。

スコラブ：そう、チェーンソーマジックと呼んでるもの。

迂回：それで遅れている...ちょっとわかった気しました。

スコラブ：僕は恋の歌だと解釈してます。

迂回：あー、その意識の部分が恋焦がれる気持ちだと。

スコラブ：そう、恋する意識だけが恋するあなたに向かっていて。恋するときの、身体がばらばらになるような感覚のことをチェーンソーマジックと言ってるんじゃないかな。

迂回：痛そうな表現ではありますけどね。すぱっと切られるよりはぎゃりぎゃりーっとやられてるような。

迂回：「血濃くす」の方向でも読んでみたくなるんですけど、なんか読めるかな。それだと実際の身体がバラバラになるようなイメージなんで...

スコラブ：チェーンソーで切り刻まれて、血がどばっと出てる。

迂回：声すらも切られて...普段目に見えてない血が、チェーンソーで形になる。血は最初から血なんだけど、チェーンソーによって濃くされたものである、と。



ちょっと「声」が置き去りになるかな。

スコラブ：うん、実体としての下半身・上半身とは別に声っていう要素があるのが象徴的に見える。

迂回：目を引くところだね。なんか思いが乗っかってそう。

スコラブ：恋心って解釈でも、そこにそういう気持ちに乗ってるのかなって思って。

迂回：んーそうかー。

スコラブ：下半身からいくのね。下半身、上半身、声。

迂回：まあ上半身の上に声があるとも言えるか。

スコラブ：血なら心臓からってイメージなんだけど、下から上なんだよね。声ってきて...  
次は頭かな。

迂回：頭なのかなー。

スコラブ：下から上で、実体から実体を伴わないものに移っていった。

迂回：順に切り刻まれていく？

スコラブ：うん。これも結構余白が大きい歌だとは思うけど。

迂回：なんか全体で見ると「チェーンソーマジック」が浮かれた感じに見えるというか。

スコラブ：難しいところだけど、そういう感じから恋の歌だっていう認識になった。

迂回：で、結句が全部ひらがななんですよ。

スコラブ：遅刻って意味だったら漢字でいいんですよ。

迂回：そうそう、なにか表したかったのかなって。

スコラブ：ダブルミーニングなのかもしれないし。

迂回：難しいなー。掴みきれない。

【技巧について】

スコラブ：ただ字面で見たとき、カタカナ・漢字・ひらがなの並びになっている。

迂回：ああなるほど、確かにチェーンソーマジックの後は漢字メインですし。

スコラブ：そういう視覚的な要素を狙ったのかもね。

迂回：この歌自体が三分割されてるように見えるのかな。

スコラブ：そうそう。

迂回：見た目上はそうだね。

スコラブ：「下半身、上半身、声」の点（、）はどうですか？

迂回：単純に置き換えるとして考えると...何もナシで詰めるのはないでしょ。  
空白か中黒、カギ括弧で囲むとか。

スコラブ：うーん「、」なのかなー。

迂回：「声」の後にも「、」あるんですね。

スコラブ：あー俺そこなくてもいいな。「声 どれもちこくす」で。

迂回：カギ括弧で3つ全部囲むの良いかと思ったんですけど、ちょっとわざとらしいかな。  
という意味では「、」が程良いか。

スコラブ：中庸というか...丁度いいかな。

迂回：ただカタカナ漢字ひらがなの並びで考えるとちょっとノイズになっている。

スコラブ：俺はちょっと点ないのも見たいけどね。

迂回：何もなしで詰めるの？それだとまあ文字の区切りはちゃんとするね。

スコラブ：自分が詠むときは点とか空白は使いたくなくて。

迂回：言葉の区切りだけでリズムを作りたいんだ。

スコラブ：んー、でもこれに関しては何もないと視覚的に詰まっちゃうかなあ。

☆なんたる星評

斬られた側でしょうか。「ちこくす」は、おくれる、おくれていくって意味のほかに「血濃くす」的なことも含まれて

るのかと思いました。下半身から順に起こる「ちこく」は、死までの主体の認識の流れを追ってる気がします。「声」のちこくは思い通りに出せないことかな。それで薄れていく意識。結句はそれらを踏まえたいろいろなことの表現としてのひらがなのかな、と読みました。深読みかも知れませんが、でも、もしそうならすごく考えられてる一首なのでは、と思います。ただ個人的なことですが、読点でつなぎすぎな気がします。チェーンソーマジックだからスパッと切られたはずなのに、読点があるのでそれぞれがつながってる印象です。ぶらんぶらん、それはこわい。せめて、どうか結句くらいは切れてほしいです。

(はだし)

字面が面白いなって思ったのと、チェーンソーマジックって言葉が好きでした。

バラバラになってるイメージなんだけど、一歩踏み込んで楽しいイメージにしてる。

(スコラブ・ラジオでの選評)

## ☆なんたる星選

特選：はだし、真匿名

並選：スコラブ

## ☆ラジオリスナー選 (集計時のお名前を使わせて頂いています)

特選：中牧正太さん、菊地うらら (ちゃむ) さん

並選：レオさん

その両手からっぽだけど殺されるチェーンソーにもなるあばら骨

詠み手：スコラブ

☆ラジオでの評

【歌意について】

迂回：これはまあ手ぶら...で、あばら骨がチェーンソー。

スコラブ：に、なる。どういう状況だろう？

迂回：裸で抱き合っている？

スコラブ：ていう感じですよ。

迂回：切なくて死ぬ？

スコラブ：何で殺されちゃうんだらうね。あばら骨をチェーンソーに喩えてるんだらうけど...

迂回：わからんでもない喩えではある...

スコラブ：抱きしめあって、でも死んじゃう、か？

迂回：これはほんとに危機感を感じてるのかな？嬉しいのかも。

スコラブ：あー、君のあばら骨に抱きつかれて殺されたいみたいな。

迂回：あばら骨をチェーンソーとして感じるっていうのはだいぶ痩せてるといって、  
浮き出てる感じだと思うんですけど

スコラブ：そうねー、骨がぶつかるぐらいの感じなのかな。

迂回：お互い痩せてるのかな。

スコラブ：主体は痩せてないかも。

迂回：押し当てられて...体を擦りつけられてるような感じ？

スコラブ：そうだねー...。結構この歌は、全部並べて見たとき一番読み易かった。  
逆に深読みするところがあんまりないかもしれない。

迂回：そういうところはあってもね。

迂回：「にもなる」って表現が気になるかな。

他のものである、って読み方をさせたいようには見えないんだけど。

スコラブ：あばら骨は、あばら骨なんだらうね。

迂回：喩えじゃなく本来のあばら骨。

スコラブ：武器にもなるし、他のものにもなりうるし...あなたのあばら骨が愛しいみたいな。

迂回：殺されてしまいたい、と。

スコラブ：結構甘い感じですね。

迂回：まあ甘さと、こういう「殺される」とか死ってというのはそう遠くはないテーマだね。

スコラブ：セックスとか死って近いテーマだしね。

そういうのをストレートに表現してる感じかな。

迂回：そういう意味だと、ストレートに甘い歌をチェーンソーを介して表現してるのはすごい。

スコラブ：きっちり詠めてますよね。なんたる星的には弄りどころが少ない。

迂回：票取れるやつ。

スコラブ：取れるやつです。うたの日ならハート2つくらいはもらえるんじゃない？

迂回：ちょっと厳しくない？日によっては同時優勝あるかなぐらいの。

### 【技巧について】

迂回：あばら骨をチェーンソーに飛躍させたのはよく見つけたなって感じですね。

スコラブ：と言うか、そこで押し通したというか。

迂回：上句がちょっとおまけって感じはあるかもなあ。

スコラブ：「両手が空っぽ」って確かにそうなんだけど、何か言い様があったかもね。

迂回：かと言って詰め込んだら下句が活きないかもしれないし。

---

### ☆なんたる星評

言われてみれば、あばら骨の全体像もチェーンソーっぽいなと思いました。

チェーンソー「にもなる」とあるので、他のモノにもなり得るのですね。

なんだろう。強く抱き締められてギシギシと鳴る喜びのサイレンかもしれないし、玩具にも、性器にもなるかもしれない。殺されてもいいと思えるほど愛してる時って、裸にエロスは感じないものです。

(ナイス害)

---

### ☆なんたる星選

特選：

並選：ナイス害

### ☆ラジオリスナー選 (集計時のお名前を使わせて頂いています)

特選：月丘ナイルさん、レオさん、めいぶるようこさん、こはぎ@中身さん、

下弦さん、天零音之命@あまね稲荷さん、ルイドリツコさん

並選：双葉屋ほいる(箔紙)さん、ルオさん、土筆みお@ネプリをお恵みくださいさん

# 歌題「チェーンソー」（詠み込み自由）詠草5

夜明け。ああ、ゾンビに噛まれチェーンソーどうるどうるどうると自壊してゆく

詠み手：はだし

## ☆ラジオでの評

【歌意について】

迂回：チェーンソー「が」自壊する。

スコラブ：ゾンビに噛まれて。「どうるどうるどうる」が、ゾンビが溶けてる音とチェーンソーの音で掛かってるのかな。

迂回：モーター音？

スコラブ：と、腐敗していく音みたいな。

迂回：「夜明け。ああ」...ゾンビって夜明けに崩れ落ちるんでしたっけ。

スコラブ：夜に徘徊してる、ってイメージかな。

迂回：...昼間は家にいるの？

スコラブ：いや土かなんかに埋まってんじゃないかな。

迂回：今日はこの土だ～。

スコラブ：この土がええねや～。

迂回：チェーンソー金属ですからね。言葉の上ではつながってるけど。

スコラブ：言葉としては読みやすいんだけど不思議な感じがする。

迂回：その理屈は乗り越えて来いってことかな。

機械が腐敗することになにか意味を込めているかも。

スコラブ：「どうるどうるどうる」から溶けてる、腐敗しているイメージは受けるよね。

迂回：そこはチェーンソーそのものと掛けてるんだとは思うけど。

スコラブ：これは要するに逆転ですよ、立場の。

普通はチェーンソーでゾンビをやっつけたりするけど、それがやられてしまう。武器なのに、自壊してしまう。

迂回：この「自壊」が確信的で、「腐敗」じゃないんですよ。

あくまでも機械として壊れていく。

スコラブ：腐敗だと寄せすぎって感じはするかなあ。自壊くらいで丁度いいよな。

スコラブ：最初の「夜明け。ああ、」どうです？

迂回：これね一好きなんですけど。見た目そんなによくある読み味ではないし、

ぱっと見好きなんだけど、はたして詠み手の癖なのかどうかってのは気になる。

スコラブ：手癖だとしたらマイナスポイントに見えてしまう。

迂回：これ言ってる人が主体になるんですかね。

スコラブ：「夜明け」からちゃんとながってるって感じは受けるかなあ。

迂回：詠嘆の気持ちもわかるんですけどね。壊れていくチェーンソーを眺めている

...んだけど、主体が正体不明すぎる感じはあるかもしれない。

スコラブ：チェーンソーが自壊していく様を見て「ああ」と思うお前は誰なんだ。

迂回：誰なんだろう。ゾンビではないな。

スコラブ：神の視点的な？

迂回：世界を見下ろしている感じが。

スコラブ：そういう映像があって、それを見ている観客であったりとか。第三者的。

迂回：強い第三者というか、完全に他人ごととしての視点だと。

迂回：全体の雰囲気としては凄い好きなんですけど。

スコラブ：映像として面白い感じある。自壊していく様の映像があって、ナレーションで入るといい感じかなっていう。

【技巧について】

迂回：擬音はいいと思う。

スコラブ：俺も好きだね。「どうるどうる」としないで「どうるどうるどうる」と。モーター感がよく出てる。

迂回：この人らしいんだろうな、って感じがする。

スコラブ：リズムよく読めるね。

---

## ☆なんたる星評

ゾンビに噛まれた男。対抗する手段として持ち出したチェーンソーが静かに作動を終えることで、男の命が絶たれたことが暗示されています。映画のワンシーンの歌ですかね。深読みをしてみるとチェーンソー自体がゾンビに噛まれたという見方もできるかもしれません。チェーンソーゾンビ。チェーンソーは結局動けないからそのまま電力が尽きて動きを止めてしまうという馬鹿なゾンビですね。

「ああ」はどうなんだろう、あくまで普通の読みをした場合ですがゾンビに噛まれ意識がゆっくりとゾンビに支配される中で視界の隅にきたチェーンソーを認めての「ああ」とすると、ギリギリのところの意味を成している「ああ」な気がします。僕の勝手な感覚ですが「ああ」は使うとアホっぽく見えると思っていて、詠嘆なんてカッコイイ言葉で言うとうすごい感じですが僕は「ああ」はくだらないことに使う言葉だと思っています。どうるどうるという擬音も馬鹿みたいでそういう意味で、今回の「ああ」はバランスのとれた使い方に見えます。「夜明け」はそんなに効果的じゃないかな。「。」が打ってあったのはちょっと面白いと言うか意味ありげでよかったですが。

(恋をしている)

チェーンソーが壊れていく様の面白さとゾンビの取り合わせ。最初の詠嘆の眺めてる雰囲気も好き。

(迂回・ラジオでの選評)

---

## ☆なんたる星選

特選：迂回、ナイス害

並選：恋をしている

## ☆ラジオリスナー選 (集計時のお名前を使わせて頂いています)

特選：ルオさん、ちゃんののさん、杏さん、小早川さん

並選：月丘ナイルさん、めいぶるようこさん、中牧正太さん、下弦さん、ルイドリツコさん

【編集後記】

「最近お前の夢ばかり見るんだ」

「やめてよ、そういうの」

「やめてよってことないだろ、愛の証だぞ。普通恋人がそういう事言ったら喜ぶだろ」

「喜ばないって」

「喜べよ」

「ケチャップ」

「ん？」

「口元、ついてる」

「最近お前の夢ばかり見るんだ」

「だからやめてって」

「夢の中でお前は草原に建つ一軒家の前で風に吹かれにっこりと微笑む」

「行ったことないわよそんなとこ」

「夢なんだからいいんだよ。で、こう言うんだ。『最近あなたの夢ばかり見る』」

「あたしが言うの？」

「そうだよ。『夢の中でのあなたは全部あべこべ。おとなしくて、気が使えて、私が困るようなことは絶対しない』」

「はは、確かにあんたと真逆ね」

「『そして何より、私のそばにずっといてくれる、生きている。冷たいと思ってた体は近くの川で遊んだからで、目が閉じているのも日の光が眩しいから。口についているのもケチャップで、私はそれをぬぐってあげるの』」

「その瞬間夢からさめて」

「うん」

「私ね」

「うん」

「最近あなたの夢ばかり見る」

2014 12/7 恋をしている

つまずいたんですか？よいしょっとなつてああ、これは確かに星のお客様——

執筆者

はだし(@sunsetsan0)

ナイス害 (@NiceGuuuy)

恋をしている (@yayoikenumai)

迂回 (@ukaian)

スコラブ(@scope\_scape)

なんたる星 12 月号

発行日：2014 年 12 月 7 日

編集発行人：恋をしている

企画担当：迂回

表紙：毬井七月 (@marii\_7th)

Twitter：@nantaruhoshi

Mail：nantaruhoshi@excite.co.jp